

山辺郡山添村大字広瀬

# 大般若経調査報告書

2021.3

山添村教育委員会  
奈良大学文学部史学科

## 序 文

山添村大字広瀬西迎寺所蔵の中野是心版『大般若経』の報告書を、『山添村文化財調査報告書第3集』としてここに刊行いたします。

大般若経は奈良県山辺郡山添村大字広瀬に残る古文書についての調査時に確認され、2016年度～2018年度にかけて調査を行いました。調査は、山添村教育委員会と奈良大学文学部史学科研究チームが共同で調査・研究を実施しました。

山添村大字広瀬として初めて確認できた大般若経であり、巻末に記された寄進銘が豊富であるため地域社会を知るための史料として貴重なものとなりました。

本書が広く活用され、今後の古文書研究の一助となることを希望します。

本事業は2015年から、山添村と奈良大学文学部史学科研究チームによって山添村内全域で実施しています。本調査から報告書の刊行に至るまで、広瀬区民、奈良大学をはじめ、各方面から多大なご協力を得たことに対し、ここに深く感謝いたします。

2021年3月31日

山添村教育委員会

教育長 西久保 良隆

## 例 言

一、本書は、奈良県山辺郡山添村大字広瀬で保存されてきた大般若経（西迎寺所蔵）の調査報告書である。

一、本調査は、山添村教育委員会と奈良大学文学部史学科研究チーム（教員・学生・院生）が、文化財保護を目的に共同で実施したものであり、奈良大学特別研究地域課題解決型プロジェクト共同研究「奈良県山添村所在の歴史資料の調査と保全をとおしてみる大和国東山内の歴史的環境に関する基礎的研究」（二〇一七～一九年度）の研究成果の一部である。

一、調査は、二〇一六～一八年度に実施した。調査体制は、以下の通りである。

山添村教育委員会 教育長 福山 茂光（二〇一六・一七年度） 西久保良隆（二〇一八年度）  
事務局長 徳谷 嘉三（二〇一六・一七年度） 奥中 義美（二〇一八年度）  
主査 井上 有貴 主事 松倉 大基 向井 一俊  
主事補 山岡 愛梨

奈良大学文学部史学科研究チーム（順不同） 河内将芳 木下光生 村上紀夫 森川正則  
大田壮一郎（二〇一六年度） 服部 光真（元興寺文化財研究所）

赤木真由美 安倉俊裕 伊嶋竜成 泉稜太 井出礼花 伊藤涼花 井戸崎一真 井口瑞貴  
今西奈都里 上野穂華 梅山舞 大久保瑞彦 大塩秀明 大園絢子 大谷奈央 小笠理帆  
尾上ひかる 神田麻衣子 菊山貴光 倉屋久美 小池由加里 高競陽 齊藤達哉 坂口碧月  
坂上夏音 佐藤麻由子 下田悠真 白井あかり 新谷香菜 鈴木夏那子 隅田瞳 高平祐利  
竹島えりか 田中美波 田村恵理 辻野満 東條果穂 富崎月菜 根岸誠 原知子 藤井俊介  
藤内友香 真下卓也 松岡真衣子 松迫寿 溝口大貴 三輪萌 棟田千颯 森金ちひろ  
横山敬和 吉川佳恵 吉田豊 吉竹智加 吉原智香

一、大般若経調査は、おもに服部光真（元興寺文化財研究所）と大田壮一郎（二〇一七年度以降、立命館大学）が担当し、吉原智香・吉竹智加・真下卓也が補助に当たった。

一、本調査では、以下の機関・関係者からご協力を得た（順不同・敬称略）。

広瀬区 区長 田中 春朗（二〇一六年度） 中森 一雅（二〇一七年度）  
橋本 庄作（二〇一八年度）

一、本書は、解説（山添村大字広瀬西迎寺所蔵の中野是心版『大般若経』について）・表1（西迎寺所蔵経典類一覧表）・表2（西迎寺所蔵『大般若経』一覧表）で構成される。

一、本書全体の編集は山添村教育委員会が担当し、表1・2の編集および解説の執筆は奈良大学文学部史学科研究チームの服部光真（元興寺文化財研究所）と吉竹智加が担当した。

# 山添村大字広瀬西迎寺所蔵の中野是心版『大般若経』について

服部光真・吉竹智加

## はじめに

本稿では山添村大字広瀬の西迎寺に所蔵される江戸時代後期中野是心版『大般若波羅蜜多経』（以下『大般若経』と略記）について紹介する。

『大般若経』は全600巻にわたる最大の大乗仏典である。7世紀半ばに唐で玄奘三蔵によって漢訳された後、7世紀後半から8世紀初頭までに日本に傳來されて以来、古代には護国經典として重視され書写、読誦が行われた。中世には莊園や村落の安穩祈願のために莊園鎮守などに「必需品」として具経され、大般若経会が各地域社会で年中行事として行われたことが知られる（榎原1992）。大音声で冒頭と末尾のみ読み上げる「転読」という独特の読経の作法や、木や紙で作られた「大般若経転読札」の配札などを特徴とし、呪術的要素が大きいことから民俗的な除災行事にも展開するなど、中・近世の地域社会に最も定着した經典の一つであった。

奈良県下においては各寺社や村々に所蔵される『大般若経』が既に大々的に調査されている（奈良県教委1992他）。その際、山添村域に関わっては、葛尾・観音寺所蔵本、北野・極楽院所蔵本、的野・常照院所蔵本、桐山・観音寺所蔵本、菅生区所蔵本（来迎寺旧蔵）、西波多・増福寺所蔵本が報告された。またこれ以外にも片平・浄妙寺や吉田・自作寺、春日・不動院、中峯山・善明院にも大般若経が所蔵されていることが知られる（『波多野村史』、元興寺文化財研究所1989）。

今回報告する広瀬・西迎寺所蔵本はこれまで報告されておらず、山添村における『大般若経』の遺存例として新たに付け加えることができるものである。江戸後期に属するものであるが、巻末に記された寄進銘が豊富であり地域史料としても注目される。以下、形態や寄進銘など書誌に関わる基本データを報告する。

## 1、西迎寺と所蔵經典の概要

西迎寺は山添村広瀬字ウラに所在する。古義真言宗に属し、華嚴宗東大寺戒壇院末であったというが、その由緒は詳しくは分からない（『波多野村史』）。熊野神社に隣接し、1960年には改築された公民館と一体となった。同じ広瀬にある西方寺が檀家寺院であるのに対し、当寺は広瀬における祈祷寺院の位置づけであったのであろう。本尊は十一面観音菩薩立像である。

西迎寺の大般若経は施入当時のものと考えられる12合の経櫃に収納されている。各経櫃内には中箱が5箱ずつあり、基本的には中箱一箱で10巻ずつ、経櫃一合では50巻ずつが収められる。実際には現状『大般若経』は巻次が錯綜しており、整序されて収納されているわけではなく、『大般若経』以外の經典も混入している。

『大般若経』を含む所蔵經典の一覧を示したのが表1である。『大般若経』以外はほとんどが『妙法蓮華経』である。『妙法蓮華経』は一具ではなく、写本と版本があり、巻第二が2巻あることからとは複数セット具えられていたと考えられる。

そのうちNo.10（巻1）、No.6・No.9（巻2）、No.7（巻3）、No.5（巻4）、No.2（巻6）、No.3（巻7）、

No.8 (巻8) は本来一具のものと考えられる。巻1 (No.10) は、表紙見返しに偈文や『成就妙法蓮華經王瑜伽觀智儀軌』が抄写されており、「寛政七〈乙／卯〉四月廿八日写之、浄覚」の奥書を有する。浄覚がいかなる人物かは詳らかではないが、西迎寺の僧侶であった可能性もあり、西迎寺における僧侶の活動の痕跡を残す数少ない資料といえる。他の経巻には識語を欠くが、同様に僧侶や信徒らが奉納したものと考えられ、断片的ではあるが近世西迎寺における宗教活動の一端をうかがわせる。

## 2、『大般若經』の概要

一方、『大般若經』は錯簡や一部の巻の料紙に欠損があり原状のままではないが、全600巻が残されている。形態に関わる情報は表1のNo.1、各巻ごとの保管状況・寄進銘の一覧を表2にまとめた。

巻第600 (10-4-11、以下『大般若經』の資料番号は表2の経櫃 - 中箱 - 中箱内No.で示す) に全体の刊記があり、本『大般若經』が寛文10年 (1670) に中野是心によって開版された版本であることが知られる。奈良県下での近世の版本大般若經の調査によれば、近世に最も広く流布した町版の一つである (奈良県教委 2005)。

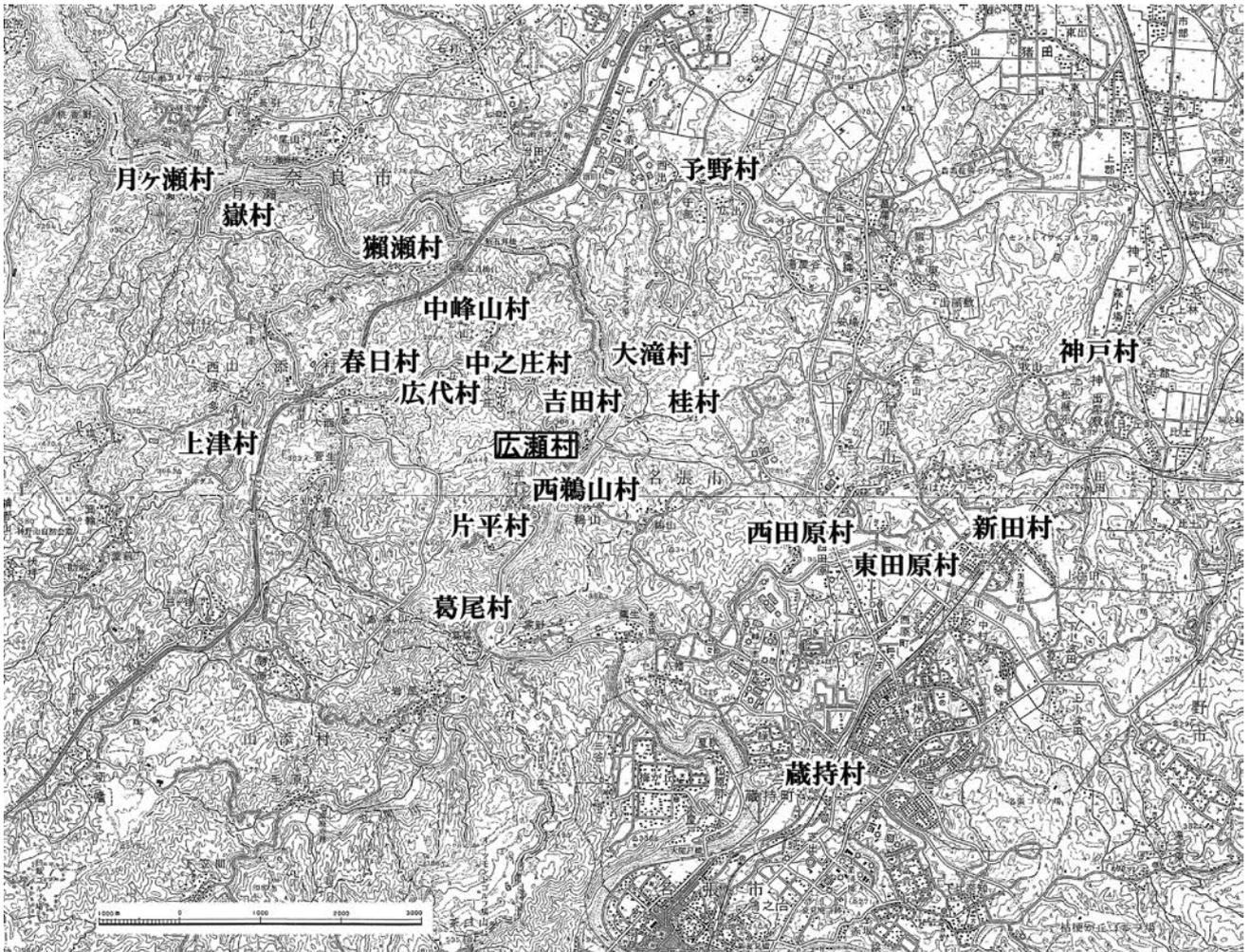
西迎寺に奉納された年紀については明確ではないが、巻末に記された寄進銘のなかに「為村中安穩／嘉永五年壬子／十一月吉日／施主／中峯山村中」(No.6-3-3) とあるように、嘉永5年 (1852) 11月に中峯山村や中之庄村の住人らが施主となっていることが確認され (No.6-3-1、No.6-4-1、No.6-4-5、No.6-4-6、No.9-2-8)、本『大般若經』の具経が進められていた時期が判明する。他に寄進の願意として追善供養の対象となっている故人の忌年は、数例を除き文政12年 (1829) ～嘉永5年の範囲に収まっており (No.3-5-4、No.6-5-2、No.9-2-1、No.9-2-5、No.12-4-6、No.12-4-10、12-5-1)、そのことを裏付けている。経櫃4蓋裏銘には嘉永6年の年紀もあり、本『大般若經』の勧募が行われて西迎寺に奉納されたのはおおよそ嘉永5～6年のことであったと考えられる。

## 3、『大般若經』具経の様相

『大般若經』は全600巻におよぶ大部の經典であるためその具経には多大な人員・資力を必要とするが、中世にはそれがしばしば勧進によって地域的大事業として行われたことが知られる (愛知県立大学中世史研究会他 2015)。近世においても、黄檗版や町版などの版経が広く刊行されるに至るとはいえ、その具経が一大事業となったことは基本的には同様であろう。本『大般若經』の具経が発起された契機は残念ながら知り得ない。しかし巻末に記された寄進銘からは、広瀬村を中心に広範囲で勧募された様相を具体的に知りうる。

巻末に寄進銘を有するのは166巻分に及ぶ。これらの寄進銘には、寄進者の居住村、名前、願意などが記される。寄進銘に記された寄進者の居住村は以下の通りである。

大和国山辺郡 春日村 (1) 上津村 (9) 瀬瀬村 (4) 中峯山村 (11) 広代村 (4)  
中之庄村 (12) 吉田村 (10) 西鶴山村 (9) 片平村 (24)  
葛尾村 (4) 嵩村 (6) 畑郷 (4) 広瀬村・西方尼寺 (1)



西迎寺所蔵『大般若経』関係地図

- 大和国添上郡 月之瀬村 (4)  
 伊賀国伊賀郡 東田原村 (4) 上神戸村 (1) 予野村 (22) 大滝村 (16) 桂村 (1)  
 新田村 (7)  
 伊賀国名張郡 西田原村 (8) 蔵持村 (1)  
 信濃国筑摩郡 兎川寺村・兎川寺 (1)  
 不明 (2)

\* ( ) 内は各村名が寄進銘に登場する巻数を表す。

寄進者の居住村は大和国山辺郡・添上郡と伊賀国伊賀郡・名張郡が中心で、国境をまたいで広範囲に分布することが知られよう。注意されるのは、これらの寄進者の居住村に広瀬村が含まれない点である。このことはいうまでもなく広瀬村内に寄進者がいなかったことを示すのではなく、残りの 434 巻分に寄進者が記されていないことを踏まえれば、むしろ基本的にはこの具経は広瀬村によって進められ、その一部が村外にも寄進者が募られて、その分がこうして寄進銘に表れていると考えなければならない。したがって、具経の発起者として主体となったのは、むしろ寄進銘に表れない広瀬村であったことが知られるのである。広瀬村で唯一寄進者として現れるのが「西

方尼寺妙貞」(No.8-2-5)である。この具経で西方寺は一寄進者の位置づけであって、あくまでも広瀬村と西迎寺を主体とするものであったと考えられる。

大和国山辺郡側の村々は畑郷の村々である。畑郷の枠組みは、中世の畑荘に遡るが近世以降も存続していたことが知られている(『波多野村史』)。寄進銘でも「畑中之庄村」(No.9-2-10)、「畑廣代村」(No.6-5-5)「畑郷吉田」(No.6-5-8)などと二重で表記される地名が確認され、「畑郷」としてのまとまりは強く自覚されていた。『大般若経』の勧募に応じた村々の分布は、広瀬村と日常的に関係の深かった地域社会の枠組みを背景としていたことが明らかとなる。

一方、伊賀国側の村々との直接的な関係性は明確ではないが、広瀬村からすれば名張川の対岸である。これもまた国郡の行政的枠組みとは異なる生活圈、交通圏を背景としているのであろう。巻578(No.6-3-11)寄進銘によれば山辺郡片平村浄妙寺の住持某は伊賀国桂村の出身であった。とりわけ巻578は『大般若経』でも真言僧に特に重視される理趣分であり、その寄進者となった浄妙寺住持は中心的な協力者であったと考えられる。同じ伊賀国桂村の長国寺は「親元」の菩提供養のために施主となっており(No.6-3-2)、こうした国境をまたぐ血縁・地縁関係を背景に僧侶らが協力したことが伊賀国内での寄進者を増やす要因となっていたと考えられる。

## むすびに

以上雑駁な紹介となったが、本『大般若経』は近世広瀬村を中心とする地域社会の枠組みや地域間の交流関係を背景に、地域的な大事業として具経された様相が寄進銘の検討からうかがえる。近世西迎寺における宗教活動の一端を直接的に示すのと同時に、広瀬村の社会的関係を物語る貴重な地域史料と捉えることができるだろう。

(付記) 本稿は服部と吉竹で作成した一覧表を踏まえ、討議のうえ服部が執筆した。文責は服部にある。

## 参考文献

愛知県立大学中世史研究会・愛知大学地域史研究会『石巻神社所蔵『大般若経』調査報告書』(豊橋市美術博物館、2016年)

榎原雅治「中世後期の地域社会と村落祭祀」(『日本中世地域社会構造の研究』校倉書房、2000年、初出は1992年)

奈良県教育委員会事務局文化財保存課『奈良県大般若経調査報告書』一・二(奈良県教育委員会、1992・1995年)

奈良県教育委員会事務局文化財保存課『奈良県所在近世の版本大般若経調査報告書』(奈良県教育委員会、2005年)

元興寺文化財研究所編『東山内仏教民俗文化財調査概報』(奈良県教育委員会、1989年)

波多野村史編纂委員会『波多野村史』(波多野村史編纂委員会、1962年)

表1 西迎寺所蔵經典類一覧表

No.	資料名	点数	装訂	写刊	表紙	表紙 法量 (縦×横cm)	料紙	半折 行数	1行 字数	第2紙 一紙長 (縦×横cm)	状態	備考
1	大般若波羅蜜多經	600	折本装	刊	別紙 (黄色地 宋唐草文)	26.7 × 7.5	楮紙 (黄染)	5	17	26.5 × 42.1	虫損 糊離	櫃1~12。櫃はそれぞれ印籠蓋造、蓋:長さ60.5cm×幅34.9cm、高6.5cm、身:長さ60.5cm×幅35.0cm×高さ29.0cm、帙(長さ49.7cm×幅28.5cm×高さ6.0cm)5段を収める。 中野は心版。本紙に白紙補修紙あり。本紙末尾に寄進銘あり(表2参照)。 法量データは巻第201のもの。
2	妙法蓮華經卷第六	1	折本装	刊	別紙 (紺紙)	26.0 × 9.8	楮紙 (白色、 雲英)	5	17	26.0 × 43.5	虫損 糊離	櫃1-帙1(櫃内No.1-1-1)。 外題題箋あり(後補、墨書)。朱点(区切点、傍訓)あり。表紙見返し・墨書「如来壽量品/分別功德品/隨喜功德品」。小口書き・地「六」。
3	妙法蓮華經卷第七	1	折本装	刊	別紙 (紺紙)	26.1 × 9.9	楮紙 (白色、 雲英)	5	17	26.2 × 44.0	虫損 糊離	櫃1-帙1(櫃内No.1-1-2)。 外題題箋あり(後補、墨書)。朱点(声点、区切点、傍訓)あり。表紙見返し・墨書「常不輟品/如来神力品/屬累品第二十二/藥王菩薩本地品/妙音菩薩品」。小口書き・地「七」。
4	妙法蓮華經卷第二	1	折本装	刊	別紙 (紺紙)	24.4 × 8.1	楮紙 (白色)	5	17	24.2 × 41.8	虫損 糊離	櫃1-帙1(櫃内No.1-1-3)。 外題題箋あり。朱点(区切点)墨点(傍訓、区切点)あり。小口書き・地「上」。
5	妙法蓮華經卷第四	1	折本装	刊	別紙 (紺紙)	26.1 × 9.9	楮紙 (白色、 雲英)	5	17	26.1 × 44.0	虫損 糊離	櫃5-帙1(櫃内No.5-1-1)。 外題題箋あり(後補、墨書)。朱点(区切点、傍訓)あり。表紙見返し・墨書「五百弟子受記品 授学無学人記品 法師品/見宝塔品」。小口書き・地「四」。
6	妙法蓮華經卷第二	1	折本装	刊	(裏表紙) 別紙 (紺紙)	(裏表紙) 26.2 × 9.9	楮紙 (白色、 雲英)	5	17	—	虫損 糊離	櫃6-帙1(櫃内No.6-1-1)。 前欠。末尾一紙と裏表紙のみ残存。
7	妙法蓮華經卷第三	1	折本装	刊	(裏表紙) 別紙 (紺紙)	26.6 × 9.8	楮紙 (白色、 雲英)	5	17	26.0 × 43.5	虫損 糊離	櫃6-帙1(櫃内No.6-1-2)。 表紙欠。表紙見返し・墨書「藥師喻品 授記品 化城喻品」。 朱点(区切点、傍訓)あり。小口書き・地「二」。
8	妙法蓮華經卷第八	1	折本装	刊	別紙 (紺紙)	27.9 × 9.8	楮紙 (白色、 雲英)	5	17	27.9 × 43.3	虫損 糊離	櫃7-帙1(櫃内No.7-1-1)。 外題題箋あり(後補、紺紙金字)。小口書き・地「八」。
9	妙法蓮華經卷第二	1	折本装	刊	別紙 (紺紙)	27.9 × 9.9	楮紙 (白色、 雲英)	5	17	26.2 × 43.8	虫損 糊離	櫃7-帙1。(櫃内No.7-1-2)。 後欠。裏表紙欠。 外題題箋あり。表紙見返し・墨書「譬喻品/信解品」。小口書き・地「式」。
10	妙法蓮華經卷第一	1	折本装	刊	別紙 (紺紙)	26.0 × 9.9	楮紙 (白色、 雲英)	5	17	26.0 × 44.4	虫損 糊離	櫃8-帙5(櫃内No.8-5-1)。 外題題箋あり。表紙見返し・墨書(上段)「智者大師略法華/稽首妙法蓮華經/薩達摩芬陀利伽/一帙八軸四七品/六萬九千三八四/一々六々は真仏/故我頂禮法華經」、同(下段)「觀智義軌云、不空三藏訳/於舌端有八葉蓮花、華上有仏結/加跏座(中略)/寛政七乙卯四月廿八日写之/淨覚」。裏表紙見返し・墨書「玄義五之一」の抜書(朱書)あり。 朱点(区切点、傍訓)、墨点(返点、送仮名)あり。小口書き・地「式」。
11	[妙法蓮華經卷第五断簡]	1	折本装	写	—	—	楮紙 (白色、 雲英)	5	17	27.7 × 40.4	虫損	櫃8-帙5(櫃内No.8-5-2)。 1紙2折分のみ残存。表紙・裏表紙欠。前後欠。 界線あり(界高22.0cm、界幅1.9cm、天高3.9cm、地高1.6cm)。墨点(傍訓、区切点)あり。
12	[妙法蓮華經卷第六断簡]	1	折本装	刊	—	—	楮紙 (白色、 雲英)	5	17	23.7 × 31.1	虫損 糊離	櫃8-帙5(櫃内No.8-5-3)。 10紙16折分のみ残存。表紙・裏表紙欠。朱点(傍訓、区切点)、墨点(傍訓、区切点)あり。
13	[陀羅尼集断簡]	1	折本装	刊	—	—	楮紙 (白色、 雲英)	5	17	(第1紙) 18.1 × 30.3	虫損 糊離	櫃8-帙5(櫃内No.8-5-4)。 16折分のみ残存。表紙・裏表紙欠。 書中内題「千手千眼觀世音菩薩滿願陀羅尼」「一切如来心秘密全身舍利宝篋印陀羅尼」「仏頂尊勝陀羅尼」。

表2 西迎寺所蔵『大般若経』一覧表

櫃	中箱	中箱内No.	巻次	寄進銘	備考
1	1	4	201	—	(経櫃1蓋表銘)「六百ノ一」。(経櫃1蓋裏銘)「二ノ一」。(経櫃1身側面銘)「六ノ二」。 (中箱1-1側面銘)「参百閨内伍」。
1	1	5	241	—	
1	1	6	245	—	
1	1	7	249	—	
1	1	8	499	—	
1	2	1	247	—	(中箱1-2側面銘)「六百珍内捌」。
1	2	2	248	—	
1	2	3	250	—	
1	2	4	415	—	前欠。
1	2	5	571	為夏月道観信士/施主/西田原村/定内	
1	2	6	572	—	
1	2	7	573	為自覚道顕信士/片平邑/北井庄助/壹巻寄進	
1	2	8	574	妙智童女/片平村/伝兵衛	
1	2	9	575	為妙照童女/片平村/喜七郎/壹巻奇(ママ)進	
1	2	10	576	為如幻童子/片平村/兵藏/壹巻付	
1	2	11	577	為自然照阿信士/片平村/宇兵衛/壹巻二付	千字文は首題下が「珍」、尾題下が「果」。 後欠。
1	2	12	579	—	
1	3	1	202	—	(中箱1-3側面銘)「伍百号内拾」。
1	3	2	491	—	
1	3	3	492	—	
1	3	4	493	—	
1	3	5	494	—	
1	3	6	495	—	
1	3	7	496	—	
1	3	8	497	—	
1	3	9	498	—	
1	3	10	500	—	
1	4	1	231	—	(中箱1-4側面銘)「参百蔵内肆」。
1	4	2	232	—	
1	4	3	233	—	
1	4	4	234	—	
1	4	5	235	—	
1	4	6	236	—	
1	4	7	237	—	
1	4	8	238	—	
1	4	9	239	—	
1	4	10	240	—	
1	5	1	511	—	(中箱1-5側面銘)「伍百闕内式」。
1	5	2	512	—	
1	5	3	513	—	
1	5	4	514	—	
1	5	5	515	—	
1	5	6	516	—	
1	5	7	517	—	
1	5	8	518	—	
1	5	9	519	—	
1	5	10	520	—	
2	1	1	211	—	(経櫃2蓋表銘)「六百ノ口」。(経櫃2蓋裏銘)「六ノ一」。(経櫃2身側面銘)「五一」。 (中箱2-1側面銘)「参百収内式」。
2	1	2	212	—	
2	1	3	213	—	
2	1	4	214	—	
2	1	5	215	—	
2	1	6	216	—	
2	1	7	217	—	
2	1	8	218	—	
2	1	9	219	—	
2	1	10	220	—	
2	2	1	451	—	(中箱2-2側面銘)「伍百出内陸」。
2	2	2	452	—	
2	2	3	453	—	
2	2	4	454	—	
2	2	5	455	—	
2	2	6	456	—	
2	2	7	457	—	
2	2	8	458	—	
2	2	9	459	—	
2	2	10	460	—	

櫃	中箱	中箱内No.	巻次	寄進銘	備考
2	3	1	471	—	(中箱2-3側面銘)「伍百崗内捌」。
2	3	2	472	—	
2	3	3	473	—	
2	3	4	474	—	
2	3	5	475	—	
2	3	6	476	—	
2	3	7	477	—	
2	3	8	478	—	
2	3	9	479	—	
2	3	10	480	—	
2	4	1	481	—	(中箱2-4側面銘)「伍百鈿内玖」。
2	4	2	482	—	
2	4	3	483	—	
2	4	4	484	—	
2	4	5	485	—	
2	4	6	486	—	
2	4	7	487	—	
2	4	8	488	—	
2	4	9	489	—	
2	4	10	490	—	
2	5	1	461	—	(中箱2-5側面銘)「伍百崑内漆」。
2	5	2	462	—	
2	5	3	463	—	
2	5	4	464	—	裏表紙欠。
2	5	5	465	—	
2	5	6	466	—	
2	5	7	467	—	
2	5	8	468	—	
2	5	9	469	—	
2	5	10	470	—	
2	5	11	247	為先祖代々／片平村／善六	前欠。
3	1	1	151	為先祖代々苺也／上予野邑／利助／新次／小右衛門／喜助	(経櫃3蓋裏銘)「五ノ一」。(経櫃3身側面銘)「二ノ二」。経櫃3蓋表銘に墨書あり(判読不能)。(中箱3-1側面銘)「貳百帳内陸」。
3	1	2	152	為先祖代々菩提也／予野邑／定次／善藏／林次／勘兵へ	
3	1	3	153	為勘香童女／五分／予野／伊助／利右衛門	
3	1	4	154	為智得貞光信女／予野村／橋本屋／助四郎	
3	1	5	155	為先祖代々苺也／予野邑／藤藏	
3	1	6	156	為光室道寿信士／予野邑／吉兵衛	
3	1	7	157	為先祖代々苺也／上予野邑／長兵衛	
3	1	8	158	(上部破損) 浄善妙意信女／予野邑／新四郎	
3	1	9	160	—	
3	1	10	161	為先祖代々／予野村／喜八郎／六右衛門	
3	2	1	162	為道喜信士苺／施主 西田原村／弥助	(中箱3-2側面銘)「貳百寒内漆」。
3	2	2	163	—	
3	2	3	164	—	
3	2	4	165	—	
3	2	5	166	—	
3	2	6	167	—	
3	2	7	168	—	
3	2	8	169	—	
3	2	9	170	—	
3	3	1	171	為先祖代々菩提／上予野邑／助次郎／浅右衛門／八右衛門／伝次郎	(中箱3-3側面銘)「貳百来内捌」。
3	3	2	172	為先祖代々苺也／上予野邑／勇助／五郎兵へ	
3	3	3	173	為安心妙誉信女／上予野邑／庄兵衛	
3	3	4	174	為唯室恵入法尼／上予野邑／金藏	
3	3	5	175	為先祖代々菩提也／上予野邑／他助	
3	3	6	176	為先祖代々／上予野邑／弥曾右衛	
3	3	7	177	為先祖代々／上予野邑／次兵衛	
3	3	8	178	為先祖代々苺也／上予野邑／喜右衛門	
3	3	9	179	為先祖代々苺也／上予野邑／勇助／喜兵衛次／惣兵衛	
3	3	10	180	為先祖代々／上予野邑／茂七／庄助／勘七	
3	4	1	181	—	(中箱3-4側面銘)「貳百暑内玖」。
3	4	2	182	当覚院義生居士／添上郡／月之瀬村／勇治	
3	4	3	183	—	
3	4	4	184	備妙安童子仏果資糧／寄附之助者也／畑郷／奥中政二／謹(梵字ダ)	
3	4	5	185	施主／上津村／藤田喜七郎	

櫃	中箱内No.	巻次	寄進銘	備考
3	4	6	186 施主上津村／中西源太夫	
3	4	7	187 為妙觀信女菰／施主上津村／勇次	
3	4	8	188 為妙阿信女／施主／上津村／勘七	
3	4	9	189 家内安全／施主上津村／次兵衛	
3	4	10	190 上津邑／進藤勇助	
3	5	1	191 藏持邑／万屋ひサ	(中箱3-5側面銘)「式百往内拾」。
3	5	2	192 為先祖代々菰／東田原／太右エ門	
3	5	3	193 一	
3	5	4	194 (梵字ア)一如道本信士靈／嘉永五子年／十一月十日／中之庄邑／平治郎	
3	5	5	195 為先祖代々／片平村／新之丞	
3	5	6	196 為二世安楽也／寄附主 春日村／中谷庄藏	
3	5	7	197 為秋光妙本信女／西田原村／林造	
3	5	8	198 一	
3	5	9	199 為惣法界／西田原邑／山下源次	
3	5	10	200 一	
4	1	1	441 一	(經櫃4蓋裏銘)「初ノ二」「兩去々山中」「嘉永六丑年初秋摩訶日／京都東山之所啓典道／此所江読經ニ罷出席畢」。(經櫃蓋側面銘)「□□經」。(經櫃4身側面銘)「初百二」。經櫃3蓋表銘に墨書あり(判読不能)。(中箱4-1側面銘)「伍百玉内伍」。
4	1	2	442 一	
4	1	3	443 一	
4	1	4	444 一	
4	1	5	445 一	
4	1	6	446 一	
4	1	7	447 一	
4	1	8	448 一	
4	1	9	449 一	
4	1	10	450 一	
4	2	1	401 一	(中箱4-2側面銘)「伍百金内壹」。
4	2	2	402 一	
4	2	3	403 一	
4	2	4	404 一	
4	2	5	405 一	
4	2	6	406 一	
4	2	7	407 一	
4	2	8	408 一	
4	2	9	409 一	
4	2	10	410 一	
4	3	1	541 一	(中箱4-3側面銘)「陸百夜内伍」。
4	3	2	542 一	
4	3	3	543 一	
4	3	4	544 一	
4	3	5	545 一	
4	3	6	546 一	
4	3	7	547 一	
4	3	8	548 一	
4	3	9	549 一	
4	3	10	550 一	
4	4	1	551 惠光貞信心女／二月十七日／予野村前出／森治平	(中箱4-4側面銘)「陸百光内陸」。
4	4	2	552 為先祖代々菰／中居庄右衛門／為先祖代々菰／築居平四郎	
4	4	3	553 一	
4	4	4	554 一	
4	4	5	555 円願満月信士／安永九子年／十月十五日／予野村前出／森嶋弥三右門	
4	4	6	556 祐応道則信士／施主瀬瀬村／利助	
4	4	7	557 一	
4	4	8	558 一	
4	4	9	559 一	
4	4	10	560 先祖代々菰也／予野村前出／森嶋佐助	
4	5	1	561 (表紙見返し)施主片平村／弁治郎 (末尾)片平村／弁治郎	(中箱4-5側面銘)「陸百果内漆」。
4	5	2	562 為 先祖代々菩提／片平村／儀造／壺巻奇(ママ)附	
4	5	3	563 為本応覚照居士／施主／西田原村／杉森又四郎 (末尾)為梅香智入童女／為妙照信女／施主／中之庄村／善六	
4	5	4	564 (最終丁紙背)惣法界／カタヒラ／新之丞	
4	5	5	565 為 先祖代々菩提／片平邑／嘉兵衛／壺巻奇(ママ)	
4	5	6	566 (末尾)為梅香智入童女 (最終丁紙背)惣法界／片平村／定藏	
4	5	7	567 為 妙智童女／片平邑／啓造／壺巻	
4	5	8	568 為 兩先祖代々／片平村／健次郎／直助／壺巻付	

櫃	中箱	中箱内No.	巻次	寄進銘	備考
4	5	9	569	為 淨掌院清安信士／片平邑／杏清造／老卷	
4	5	10	570	為西連道光信士／片平邑／善兵工衛／老卷	
5	1	2	242	—	(經櫃4蓋表銘)「四百内口」。(經櫃4蓋裏銘)「四ノ二」。(經櫃4身側面銘)「四口」。 (中箱5-1側面銘)「陸百巨内老」。
5	1	3	502	—	
5	1	4	503	—	
5	1	5	504	—	
5	1	6	505	—	
5	1	7	506	—	
5	1	8	507	—	
5	1	9	508	—	
5	1	10	509	—	
5	1	11	510	—	
5	1	12	599	—	
5	2	1	221	—	(中箱5-2側面銘)「參百冬内參」
5	2	2	222	—	
5	2	3	223	—	
5	2	4	224	—	
5	2	5	225	—	
5	2	6	226	—	
5	2	7	227	—	
5	2	8	228	—	
5	2	9	229	—	
5	2	10	230	—	裏表紙欠。
5	2	11	581	為光譽清音妙瑞信女・勝譽実道念下得上信士也／穉願童子・梅願貞紅清信女・露融善童子／為信州前免川靈瑞寺中興伝灯大阿遮梨法印秀榮也／為円月智鏡清信女／為億譽浄念清心信士・高譽貞順妙清信女也／信陽兔川寺弟子／龍海敬白	
5	3	1	582	高山妙室信女／片平邑／新助	(中箱5-3側面銘)「陸百季内玖」。
5	3	2	583	—	
5	3	3	584	惣法界／カタヒラ／庄蔵	
5	3	4	585	—	
5	3	5	586	惣法界／片平村／久蔵	
5	3	6	587	—	
5	3	7	588	惣法界／片平村／脇山文三郎	
5	3	8	589	—	
5	3	9	590	惣法界／片平村／栄太	
5	4	1	246	—	(中箱5-4側面銘)「陸百奈内拾」。 前欠。
5	4	2	430	—	
5	4	3	422	—	前欠。
5	4	4	591	—	
5	4	5	592	—	裏表紙欠。
5	4	6	593	—	
5	4	7	594	—	
5	4	8	595	—	
5	4	9	596	—	
5	4	10	597	—	
5	4	11	598	—	
5	5	1	203	—	(中箱5-5側面銘)「三百秋内老」。
5	5	2	204	—	
5	5	3	205	—	
5	5	4	206	—	
5	5	5	207	—	
5	5	6	208	—	
5	5	7	209	—	
5	5	8	210	—	
5	5	9	243	—	
5	5	10	244	—	
5	5	11	246	—	後欠。
6	1	3	81	上津村／井岡清六	(經櫃6蓋表銘)「三百内二」。(經櫃6蓋裏銘)「三ノ二」。(經櫃6身側面銘)「初二」。 (中箱6-1側面銘)「初百日内玖」。 (第一丁紙背墨書)「八十一」。
6	1	4	82	奉雲水妙遊禪尼靈位／畑郷吉田／浦弥右エ門／謹(梵字ダ)	
6	1	5	83	為二世安楽／伊州上神戸村／藤井源市良	
6	1	6	84	為惣法界／施主 新田村／伝次郎／林左衛門／角右衛門	

櫃	中箱	中箱内No.	巻次	寄進銘	備考
6	1	7	85	為先祖代々菩提也／中峯山村／ウエ 伊蔵／コダニ 武平治	(第一丁紙背墨書)「八十五」。
6	1	8	86	為 先祖代々菩提也／中峯山村／中谷利兵衛	(第一丁紙背墨書)「八十六」。
6	1	9	87	—	
6	1	10	88	施主／上津村／藤田喜兵衛	
6	1	11	89	為先祖代々菩提也／中峯山村／田畑清次郎	(第一丁紙背墨書)「八十九」。
6	1	12	90	—	
6	2	1	—	—	(中箱6-2側面銘)「初百月内拾」。
6	2	2	91	—	(第一丁紙背墨書)「九十一」。
6	2	3	92	—	
6	2	4	93	—	
6	2	5	94	—	
6	2	6	95	—	表紙欠。(第一丁紙背墨書)「九十五」。
6	2	7	96	—	
6	2	8	97	—	表紙欠。(第一丁紙背墨書)「九十七」。
6	2	9	98	為神官長照社土菩提備之者也／畑郷／井戸上伝吉／謹(梵字ダ)	
6	3	1	61	為先祖代々菩提也／嘉永五年壬子／十一月吉日／中峯山村／施主／奥谷浅吉	(中箱6-3側面銘)「初百洪内漆」。
6	3	2	62	為家内安全祈所／親元／実誉浄禪定門／心誉妙安禪定尼／伊州国／施主／桂邑／長国寺	
6	3	3	63	為村中安穩／嘉永五年壬子／十一月吉日／施主／中峯山村中	
6	3	4	64	為安兵衛代々仏果資糧寄付之畢／畑郷吉田／奥西武平／謹(梵字ダ)	(第一丁紙背墨書)「六十四」。
6	3	5	65	為実徳信土菩提／月之瀬／吉造	(第一丁紙背墨書)「六十五」。
6	3	6	66	—	
6	3	7	67	為先祖代々菩提也／中峯山村／ソハ／要助	
6	3	8	68	為父母菩提／伊賀名張郡西田原村／寄進／伊右エ門	
6	3	9	69	神光照入社土／中峯山村／平田宇平／為先祖代々菩提也／同村イマブヤ利七	
6	3	10	70	觀阿知光信土／大滝村／多蔵／不味大空童子／同村／惣兵衛	
6	3	11	578	為 両新各靈／生国伊賀国／桂村座／片平村浄明寺住(後欠)	後欠。 (第一丁紙背墨書)「七十八」。
6	4	1	71	為村中安穩／嘉永五年壬子／十一月吉日／施主／中峯山村中	(中箱6-4側面銘)「初百荒内捌」。
6	4	2	72	明識信土菩提／伊州名張郡西田原村／寄進／平助	
6	4	3	73	為先祖代々菩提也／中峯山村／オクヤ 清三郎／イノボ惣助	
6	4	4	74	為秋応童子菩提／壺巻付／片平村／久保田／儀兵衛	(第一丁紙背墨書)「七十四」。
6	4	5	75	為村中安穩／嘉永五年壬子／十一月吉日／施主／中峯山村中	
6	4	6	76	為惣法界菩薩／施主新田村／川口瀬平	
6	4	7	77	家内安全／上津村／武助	
6	4	8	78	発願貞心居士／起願貞心大姉菩提／伊州名張郡西田原村／寄進／家里栄蔵	
6	4	9	79	為 先祖代々菩提也／中峯山村／ハス子弥助／ラウ清介	
6	4	10	80	夏月貞光大姉／施主新田村 小左衛門／庄左衛門／惣左衛門	
6	5	1	51	—	(中箱6-5側面銘)「初百亩内陸」。
6	5	2	52	(梵字ア) 姉光兒女／嘉永五壬子歳／二月二十二日／施主／畠／吉住嘉左衛門	(第一丁紙背墨書)「五十二」。
6	5	3	53	施主／廣代村／神谷新兵衛	
6	5	4	54	商売繁昌／施主／廣代村／油屋重三郎	
6	5	5	55	為先祖代々菩提也／畑廣代村／吉住勇治	(第一丁紙背墨書)「五十五」。
6	5	6	56	施主／廣代村／吉住榮三郎	(第一丁紙背墨書)「五十六」。
6	5	7	57	為無相童子菩提寄所之／畑郷吉田／弁治／謹(梵字ダ)	
6	5	8	58	為真蔵院露蟬道敢信土／備之助者也／畑郷吉田／中西伊三郎／謹(梵字ダ)	
6	5	9	59	為先祖代々菩提／月之瀬村／嘉造／善造／久兵衛	
6	5	10	60	—	
7	1	3	412	—	(経櫃7蓋裏)「三ノ一」。経櫃7蓋表、身側面に墨書あり(判読不能)。 (中箱7-1側面銘)「伍百生内式」。
7	1	4	413	—	
7	1	5	414	—	
7	1	6	416	—	

櫃	中箱	中箱内No.	巻次	寄進銘	備考
7	1	7	418	—	
7	1	8	419	—	
7	1	9	420	—	
7	1	10	421	—	
7	1	11	422 580	為妙桜童女／片平村／啓助／老巻之内	錯簡あり。前半は巻422、後半は巻580。
7	1	12	580	—	後欠。
7	2	1	411	—	(中箱7-2側面銘)「伍百麗内参」。
7	2	2	415	—	後欠。
7	2	3	417	—	
7	2	4	423	—	
7	2	5	424	—	
7	2	6	425	—	
7	2	7	427	—	
7	2	8	428	—	
7	2	9	429	—	
7	3	1	431	為惣法界菩提／施主新田村／七五郎／甚之丞	(中箱7-3側面銘)「伍百水内肆」。
7	3	2	432	為先祖代々提菩(ママ)／西鶴山／豊田長造	
7	3	3	433	為照覚妙光信女／西鶴山邑／喜蔵	
7	3	4	434	為觀蓮自宝信士／西鶴山邑／文吉	
7	3	5	435	家内安全／施主 東田原村／清右衛門／宇右衛門	
7	3	6	436	家内安全／施主／東田原邑／伊右衛門／清右衛門	
7	3	7	437	為觀月清光信士／施主新田邑／林左衛門	
7	3	8	438	阿光妙眼信女／応浄慶信士／真山大空禪定門／施主東田原茂兵衛／嘉重郎／伊八	
7	3	9	439	為惣法界苜／施主新田村／川浪礪平	
7	3	10	440	為法寿栄山居士／施主新田村／川口久平	
7	4	1	521	—	(中箱7-4側面銘)「陸百珠内参」。
7	4	2	522	—	(第一丁紙背墨書)「二十二」。
7	4	3	523	—	(第一丁紙背墨書)「二十〇」。
7	4	4	524	—	(第一丁紙背墨書)「二十四」。
7	4	5	525	—	(第一丁紙背墨書)「二十五」。
7	4	6	526	—	
7	4	7	527	—	(第一丁紙背墨書)「二十七」。
7	4	8	528	—	
7	4	9	529	—	(第一丁紙背墨書)「二十九」。
7	4	10	530	—	
7	5	1	531	—	(中箱7-5側面銘)「陸百称内肆」。
7	5	2	532	—	
7	5	3	533	—	
7	5	4	534	—	(第一丁紙背墨書)「三十四」。
7	5	5	535	—	(第一丁紙背墨書)「三十五」。
7	5	6	536	—	(第一丁紙背墨書)「三十六」。
7	5	7	537	—	(第一丁紙背墨書)「三十七」。
7	5	8	538	—	(第一丁紙背墨書)「三十八」。
7	5	9	539	—	(第一丁紙背墨書)「三十九」。
7	5	10	540	—	(第一丁紙背墨書)「四十」。
8	1	1	261	—	(経櫃8蓋裏銘)「初ノ一」。経櫃蓋表、身側面に墨書あり(判読不能)。 (中箱8-1側面銘)「参百成内漆」。
8	1	2	262	—	
8	1	3	263	—	
8	1	4	264	—	
8	1	5	265	—	
8	1	6	266	—	
8	1	7	267	—	
8	1	8	268	—	
8	1	9	269	—	
8	1	10	270	—	
8	2	1	271	—	(中箱8-2側面銘)「参百歳内捌」。
8	2	2	272	—	
8	2	3	273	—	
8	2	4	274	—	
8	2	5	275	為菩薩戒弟子宝池院仁孝智円近車尼／施主／西方尼寺妙貞	
8	2	6	276	為惣法界菩提／川原番介／留吉	
8	2	7	277	—	
8	2	8	278	—	
8	2	9	279	—	
8	2	10	280	—	
8	3	1	281	—	(中箱8-3側面銘)「参百律内玖」。 (第一丁紙背墨書)「八十一」。

櫃	中箱	中箱内No.	巻次	寄進銘	備考
8	3	2	282	—	
8	3	3	283	—	
8	3	4	284	—	
8	3	5	285	—	
8	3	6	286	—	
8	3	7	287	—	
8	3	8	288	—	
8	3	9	289	—	
8	3	10	290	—	
8	4	1	291	—	(中箱8-4側面銘)「參百呂内拾」。 (第一丁紙背墨書)「九十一」。
8	4	2	292	—	
8	4	3	293	—	
8	4	4	294	—	
8	4	5	295	—	
8	4	6	296	—	
8	4	7	297	—	
8	4	8	298	—	(第一丁紙背墨書)「九十八」。
8	4	9	299	—	
8	4	10	300	—	
8	5	5	251	—	(中箱8-5側面銘)「參百餘内陸」。 (第一丁紙背墨書)「五十一」。
8	5	6	252	—	
8	5	7	253	—	前欠。
8	5	8	254	—	
8	5	9	255	—	前欠。
8	5	10	不明	—	表紙・裏表紙のみ残存。題簽に欠損あり、巻数不明。
8	5	11	257	—	前欠。
8	5	12	258	—	
8	5	13	259	為秋光妙慶禪尼菩提／吉田／孫七／謹(梵字ダ)	
8	5	14	260	為代々総万靈頓証菩提／寄附之助者也／畑郷／吉住武助／謹(梵字ダ)	
9	1	1	301	—	(經櫃9蓋表銘)「六百内」。(經櫃9蓋裏銘)「六ノ二」。經櫃9身側面に墨書あり(判読不能)。 (中箱9-1側面銘)「肆百調内壱」。
9	1	2	302	—	
9	1	3	303	—	
9	1	4	304	—	
9	1	5	305	為先祖大々菩提／儀兵衛／為先祖大々菩提／中之庄邑／庄右衛門／為先祖大々菩提／金右衛門／嘉永五子年	
9	1	6	306	—	
9	1	7	307	—	
9	1	8	308	—	
9	1	9	309	—	
9	1	10	310	—	
9	2	1	311	嘉永三戌年／十一月十八日／一悟妙性信女靈位／和州畑中ノ庄村／祐助／為先祖大々菩提／中之庄村／宇藏	(中箱9-2側面銘)「肆百陽内式」。
9	2	2	312	天保五年年／十二月八日／觀月道安信士靈／和州中ノ庄／伝之丞	
9	2	3	313	嘉永二年／十一月十一日／浄光妙心信女／畑中ノ庄／銀藏	
9	2	4	314	弘化三丙午年／正月十四日／徳岸伝応信士位／中ノ庄村／敬治郎	
9	2	5	315	弘化三丙午年／三月二十六日／清岸浄郭信士／中之庄村／慶治郎	
9	2	6	316	涼風妙栄信女 靈／中ノ庄村／平太／為先祖大々菩提／同村／又四郎	
9	2	7	317	—	
9	2	8	318	弘化四未閏二月六日／(梵字ア)冬雪楮冷信士／和州畑中ノ庄村／久右衛門／奉拝居なり敬白／嘉永五年／子霜月口日／同村 伝藏	
9	2	9	319	到普觀信士／中之庄村／要藏／秋月童女／同若芝／乘蓮嫂伴信女位／同清助	表紙欠。
9	2	10	320	秋月道仙信士／白法妙寿信女苺也／連雪道寒信士靈／畑中之庄村／利兵衛	
9	3	1	321	—	(中箱9-3側面銘)「肆百雲内參」。
9	3	2	322	—	
9	3	3	323	—	
9	3	4	324	—	
9	3	5	325	—	

櫃	中箱	中箱内No.	巻次	寄進銘	備考
9	3	6	326	—	
9	3	7	327	—	
9	3	8	328	—	
9	3	9	329	—	
9	3	10	330	—	
9	4	1	331	—	(中箱9-4側面銘)「肆百騰内肆」。
9	4	2	332	—	
9	4	3	333	—	
9	4	4	334	—	
9	4	5	335	—	
9	4	6	336	—	
9	4	7	337	—	
9	4	8	338	—	
9	4	9	339	—	
9	4	10	340	—	
9	5	1	341	為惣法界菩提/施主葛尾村/惣助	(中箱9-5側面銘)「肆百致内伍」。
9	5	2	342	為惣法界菩薩/施主葛尾村/硝助	(第一丁紙背墨書)「三ノ四十二」。
9	5	3	343	為惣法界菩薩/施主葛尾村/利三郎	
9	5	4	344	為惣法界菩薩/施主葛尾村/弥蔵	
9	5	5	345	—	
9	5	6	346	為惣法界菩薩/施主 吉田村 丈蔵/庄兵衛/伝蔵	
9	5	7	347	為惣法界菩薩/施主 吉田村 銀蔵/市郎兵衛/庄蔵	
9	5	8	348	為惣法界菩薩/施主 吉田村 惣治郎/儀助/常治	
9	5	9	349	—	
9	5	10	350	—	(第一丁紙背墨書)「三ノ五十」。
10	1	1	11	—	(經櫃10蓋表銘)「三百二」。(經櫃10蓋裏銘)「二ノ一」。(經櫃10身側面銘)「初一」。 (中箱10-1側面銘)「初百地内弐」。
10	1	2	12	—	(第一丁紙背墨書)「十二」。
10	1	3	14	—	(第一丁紙背墨書)「十四」。
10	1	4	15	—	(第一丁紙背墨書)「十五」。
10	1	5	16	—	(第一丁紙背墨書)「十六」。
10	1	6	17	—	
10	1	7	18	—	(第一丁紙背墨書)「十八」。
10	1	8	19	—	
10	1	9	20	—	(第一丁紙背墨書)「二十」。
10	1	10	99	—	(第一丁紙背墨書)「九十九」。
10	2	1	41	—	(中箱10-2側面銘)「初百字内伍」。 (第一丁紙背墨書)「四十一」。
10	2	2	42	—	(第一丁紙背墨書)「四十二」。
10	2	3	43	—	(第一丁紙背墨書)「四十三」。
10	2	4	44	—	裏表紙欠。(第一丁紙背墨書)「四十四」。
10	2	5	45	—	表紙欠。(第一丁紙背墨書)「四十五」。
10	2	6	47	—	前欠。
10	2	7	48	—	(第一丁紙背墨書)「四十八」。
10	2	8	49	—	中欠。
10	2	9	50	—	(第一丁紙背墨書)「五十」。
10	2	10	—	—	表紙のみ残存。
10	2	11	—	—	表紙(下半)のみ残存。
10	3	1	31	—	(中箱10-3側面銘)「初百黄内肆」。
10	3	2	32	—	(第一丁紙背墨書)「三十二」。
10	3	3	33	—	(第一丁紙背墨書)「三十三」。
10	3	4	34	—	
10	3	5	35	—	
10	3	6	36	—	(第一丁紙背墨書)「三十六」。
10	3	7	37	—	
10	3	8	38	—	
10	3	9	39	—	
10	3	10	40	—	
10	4	1	2	—	(中箱10-4側面銘)「初百天内壹」。 裏表紙欠。(第一丁紙背墨書)「二」。
10	4	2	3	—	裏表紙欠。(第一丁紙背墨書)「三」。
10	4	3	4	—	裏表紙欠。(第一丁紙背墨書)「四」。
10	4	4	5	—	(第一丁紙背墨書)「五」。
10	4	5	6	—	(第一丁紙背墨書)「六」。
10	4	6	7	—	卷末開披不能。
10	4	7	8	—	
10	4	8	9	—	
10	4	9	10	—	(第一丁紙背墨書)「十」。卷末開披不能。
10	4	10	100	—	(第一丁紙背墨書)「百」。

櫃	中箱	中箱内No.	卷次	寄進銘	備考
10	4	11	600	—	裏表紙欠。(刊記)「寛文十庚戌仲冬吉日／中野氏は心板育行／板木細工人／藤井六左衛門」。
10	5	1	13	—	(中箱10-5側面銘)「初百玄内參」。 中欠。
10	5	2	21	—	(第一丁紙背墨書)「二十一」。
10	5	3	22	—	(第一丁紙背墨書)「二十二」。
10	5	4	23	—	
10	5	5	24	—	(第一丁紙背墨書)「二十四」。
10	5	6	25	—	
10	5	7	26	—	
10	5	8	27	—	
10	5	9	28	—	(第一丁紙背墨書)「二十八」。
10	5	10	29	—	
10	5	11	30	—	(第一丁紙背墨書)「三十」。
10	5	12	46	—	(第一丁紙背墨書)「四十六」。
10	断簡			—	断簡数十点あり。
11	1	1	121	—	(経櫃11蓋裏銘)「四ノ一」。(経櫃11身側面銘)「三二」。 (中箱11-1側面銘)「式百辰内參」。
11	1	2	122	—	
11	1	3	123	—	
11	1	4	124	—	
11	1	5	125	—	
11	1	6	126	—	
11	1	7	127	—	
11	1	8	128	—	
11	1	9	129	—	
11	1	10	130	—	
11	2	1	131	—	(中箱11-2側面銘)「式百宿内肆」。
11	2	2	132	—	
11	2	3	133	—	
11	2	4	134	—	
11	2	5	135	—	
11	2	6	136	—	
11	2	7	137	—	
11	2	8	138	—	
11	2	9	139	—	
11	2	10	140	—	
11	3	1	141	—	(中箱11-3側面銘)「式百列内伍」。
11	3	2	142	—	
11	3	3	143	—	
11	3	4	144	—	
11	3	5	145	—	
11	3	6	146	—	
11	3	7	147	—	
11	3	8	148	—	
11	3	9	149	—	
11	3	10	150	—	
11	4	1	111	—	(中箱11-4側面銘)「式百具内式」。
11	4	2	112	—	
11	4	3	113	—	
11	4	4	114	—	
11	4	5	115	—	
11	4	6	116	—	
11	4	7	117	—	
11	4	8	118	—	
11	4	9	119	—	
11	4	10	120	—	
11	5	1	101	—	(中箱11-5側面銘)「式百盈内老」。
11	5	2	102	—	(卷末紙背墨書)「二」。
11	5	3	103	—	
11	5	4	104	—	
11	5	5	105	—	
11	5	6	106	—	
11	5	7	107	—	
11	5	8	108	—	
11	5	9	109	—	
11	5	10	110	—	

櫃	中箱	中箱内No.	巻次	寄進銘	備考
12	1	1	351	為観月妙照信女／西鶴山／勇蔵	(経櫃12蓋表銘)「五百内口」、(経櫃12蓋裏銘)「五ノ二」。経櫃12身側面に墨書あり(判読不能)。(中箱12-1側面銘)「肆百雨内陸」。(第一丁紙背墨書)「三ノ五十一」
12	1	2	352	為憐倡妙白信女／西鶴山邑／庄兵へ	巻頭開披不能、(第一丁紙背墨書)三ノ五十二
12	1	3	353	為先祖代々菩提／西鶴山／栄助	(第一丁紙背墨書)「三ノ五十三」。
12	1	4	354	為先祖代々菩提／西鶴山／弥二良	(第一丁紙背墨書)「三ノ五十四」。
12	1	5	355	為先祖代々菩提／西鶴山／勘兵へ	
12	1	6	356	為先祖代々菩提／西鶴山／儀蔵／伊蔵	
12	1	7	357	為夏月道善信士／遅瀬邑／文次郎	
12	1	8	358	為解脱妙証信女／ヲソセ邑／五郎助	
12	1	9	359	為先祖代々菩提／ヲソセ邑／九兵衛	
12	1	10	360	為家内安全菩提／上予野邑／庄右衛門／平次良	
12	1	11	501	—	巻末開披不能。
12	2	1	371	—	(中箱12-2側面銘)「肆百結内捌」。(第一丁紙背墨書)「三ノ七十一」。
12	2	2	372	—	(第一丁紙背墨書)「三ノ七十二」。
12	2	3	373	—	(第一丁紙背墨書)「三ノ七十三」。
12	2	4	374	—	(第一丁紙背墨書)「三ノ七十四」。
12	2	5	375	和州山邊郡嶽邑願主／定蔵	(第一丁紙背墨書)「三ノ七十五」。
12	2	6	376	—	
12	2	7	377	—	(第一丁紙背墨書)「三ノ七十七」。
12	2	8	378	—	
12	2	9	379	—	
12	2	10	380	—	(第一丁紙背墨書)「三ノ八十」。
12	3	1	361	為香顔妙消信女菩提／備之助者也／畑郷吉田／今屋政助／謹(梵字ダ)	(中箱12-3側面銘)「肆百露内漆」。(第一丁紙背墨書)「三ノ六十一」。
12	3	2	362	—	(第一丁紙背墨書)「三ノ六十二」。
12	3	3	363	和州山邊郡嶽村願主／与蔵	(第一丁紙背墨書)「三ノ六十三」。
12	3	4	364	和州山邊郡嵩邑願主／甚之丞	(第一丁紙背墨書)「三ノ六十四」。
12	3	5	365	為節山義隆信士菩提／備之助者也／畑郷吉田／大久保嘉蔵／謹(梵字ダ)	
12	3	6	366	和州山邊郡嵩邑願主／久四良	第一丁紙背に墨書断片あり。
12	3	7	367	和州山邊郡嵩村願主／長蔵	
12	3	8	368	和州山邊郡嵩村願主／久兵衛	(第一丁紙背墨書)「三ノ六十八」。
12	3	9	369	—	
12	3	10	370	涼風道覚信士／添上郡／月之瀬村／久三郎	(第一丁紙背墨書)「三ノ七十」。
12	4	1	381	—	(中箱12-4側面銘)「肆百為内政」。(第一丁紙背墨書)「三ノ八十二」。
12	4	2	382	—	(第一丁紙背墨書)「三ノ八十一」。
12	4	3	383	晴月道慶信士／大瀧村／佐蔵	第一丁紙背に墨書断片あり。
12	4	4	384	—	(第一丁紙背墨書)「三ノ八十四」。
12	4	5	385	光覚自性信士／大瀧村／芳助	(第一丁紙背墨書)「三ノ八十五」。
12	4	6	386	嘉永五年／秋雲童子／大瀧村／利右衛門子／天保三辰年／八月十五日／秋月道薫信士／同村／慶蔵	第一丁紙背に墨書断片あり。
12	4	7	387	—	(第一丁紙背墨書)「三ノ八十七」。
12	4	8	388	覚樹得性信女／春養妙寿信女／大瀧村／嘉蔵	(第一丁紙背墨書)「三ノ八十八」。
12	4	9	389	—	(第一丁紙背墨書)「三ノ八十九」。
12	4	10	390	嘉永五子年／八月十一日／泰興源雲信士／泰室貞樹信女／大瀧村／西本貞蔵	
12	5	1	391	文政十二丑年／八月廿日／秋覚道正禪定門／弘化二巳年／四月四日／警応登巖居士／大瀧村／大垣平四郎	(中箱12-5側面銘)「肆百霜内拾」。
12	5	2	392	大瀧村／武助	(第一丁紙背墨書)「三ノ九十二」。
12	5	3	393	心覚恵光信女／大瀧村／左兵衛／同村／弥蔵	
12	5	4	394	大瀧村／惣助	
12	5	5	395	蓮室浄祐信士／大瀧村／甚蔵	(第一丁紙背墨書)「三ノ九十五」。
12	5	6	396	夏屋善祐信士／咩露童女／大瀧村／平吉	(第一丁紙背墨書)「三ノ九十六」。
12	5	7	397	大瀧村／弥三郎／清兵衛／金七	
12	5	8	398	葉散道往信女／大瀧村／嘉兵衛	第一丁紙背に墨書断片あり。
12	5	9	399	心覚真正信士／大瀧村／新助	
12	5	10	400	者覚道永禪定門／大瀧村／佐七口／同弥兵衛／同七兵衛	
12	断箱			—	断箱数点。

[凡例]

- ・寄進銘は特に断りのない限り、帖末に記されている。他の箇所記されている場合は( )で注記した。
- ・旧字・異体字は原則として通用の字体に改めた。但し、地名などで一部に旧字を残したところがある。
- ・「/」は改行を表す。

**山添村文化財調査報告第3集**  
**山辺郡山添村大字広瀬**  
**大般若經調査報告書**

編集・発行 山 添 村 教 育 委 員 会  
〒630-2344

奈良県山辺郡山添村大字大西151

TEL 0743-85-0049

FAX 0743-85-0219

発行年月日 2021年3月31日

印 刷 共同精版印刷株式会社